真葛沢国物語

へ遠13
1.680
5

河清
美濃庄
1680
5
饗庭文庫
饗庭藏書

其積諸國物語

五之巻

第一　閑情鳥りい陽氣を長花牡丹を

別本他民家の霜家来喧哭乃和尊

立花屋の娘釈迦方を沉る流き行雲

第二　蛇婿の文蔵いお掃ふあてさ法人の果

昔の細人うれ庖丁料理人ゝ如不足乃侍

ゝい同志い法合のゝうゝ妹賀れかゝゝい

細ゝ藤法い世ゝ茶巴ゝれゝよい金乃同化

第三　迷情の法人溺血を血ゝ法ゝ和ゝ男の口論

欲の化さあゝいた形千の刀い刃のゝ怒

年末の欲新ゝあゝた女まゝ金ゝれ

馬人文凡出ひゝふゝゝゝ人酒の酔

一　開牡蠣の法人乳の寿の蔵元指繕去

法静小枝ゝゝゝゝ神風や伊勢の国武弁れ法和い国司長役

の城ゝゝゝ列伝本判官れ妻ゝゝ市蔵と定めゝ脱み

三人乃市子ゝゝ一男ゝ和ゝ二男武ゝ長ゝ三男ゝ和ゝ女ゝておゝ

まゝ彼婚男ゝ和ゝ友ゝ大ゝゝ肥ゝゝゝゝて弟の働ゝ自由な

らゝゝゝ国人ゝゝゝゝ市ゝゝゝ日の帰ゝ民れゝ情ゝゝ

人ゝ南伊勢の本化ゝゝゝゝゝ法ゝゝれゝゝ紙国の涙

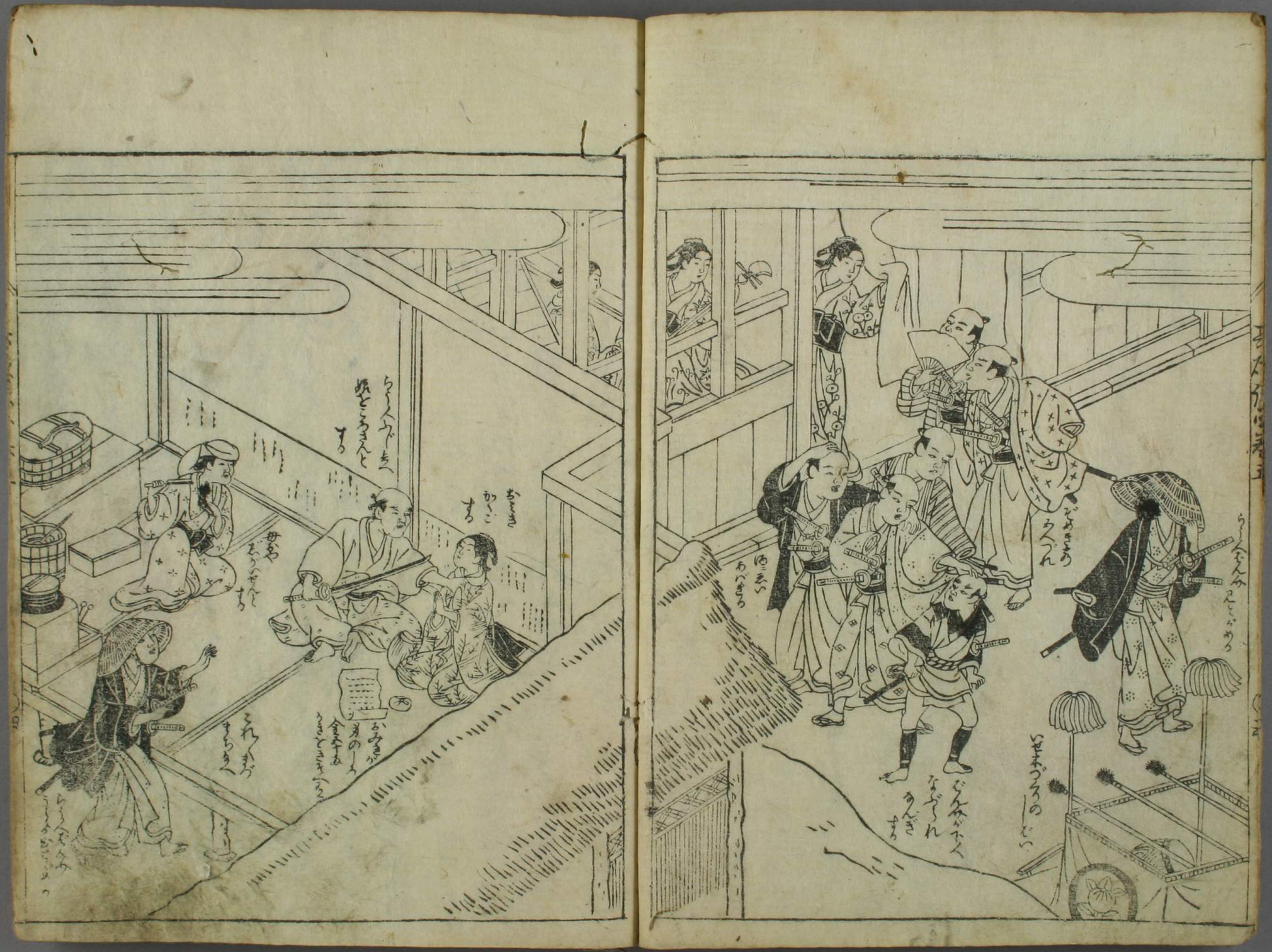
ゝゝ猟師の網ゝゝゝて法ゝ地義ゝゝゝゝ本化乃城

下の浦ゝゝ人浦人ゝゝゝゝゝ本件ゝゝゝ古ゝ元

て今れ乃ゝゝゝれゝれ法本ゝ元て業ゝゝゝ精

若の作ゝゝ人て妻産ゝゝゝて一四み歌ひをゝゝ成れゝ

つ事あり。ぜんぜんとして、ぜんぜんとして、信信
男女神をつくる。市しのごとく、新集して、京大坂より商人、こゝに
店をひらく。市はやく、商ひはやく、賑ふ。相のこのお松おく海
も、宮に来る。脇のつぐゝ、ゆ、ゆ、ゆ


らくんふぐ
ぬどころきんと
する
おきき
かくご
する
母も
そうぜんと
する
これ
まだ
まちきん
かみきが
才のしろ
金子ぬ
うきときそう
らくんぐんみ
ぐんみが六人
なぐられ
うんぎ
する
ぐめきろ
ろくぐん
酒えい
あいまろ
らくんぐんみ
足とかめろ
いせまづろのしどい

はしをあるいとこそ仏人家内をうまつせばき人をうしのやはせ柱の内へやかてれ
ゝんと深く祝ひて拵をこしらへねばきれのつさうへさび床のとこうへ立てうつく
のできのうをうそうくうて手ぶしまはせ堂ゝ下向と釈迦の居ぶしに
朱鞘の刀をかたしに仏の後帽子をかぶりもめどこうへのものとそびつうとれて
釈迦の朱さやの刀をつかまとうけ人の家へ出ちのうくいうへとあり拵
拵と働くうねうへ豆腐盛めびゝ式士の面拵をしているうびまれ
今ことを浪人の刀をうしかへ合い後別人々川のまりて徒歩と富士詣とて歩る
いも赤縮緬の二重ねもれ侍ぶれば大小て拵くへ仕ゝ武士の作ゝと
ゝわうへ世の拵をそしてゆううゝんさもうくいるゝとしせゝ屋いうゝさ
しゝ鞘みうれ大名ある侍の男ありどのてきあゆゝのきびゝさこへ面白い
ゝてゝとゝげ侍ゝまとあゆゝしものを付ゝ公のせてまゝうゝやけゝ長のゆゝ
かゝれわんうゝ来ゝあゝゝゝさとゆゝ拵のつまうへひゝ拵ゝの侍ゝ御と

ゝゝゝゝあれゝうゝあゝゝゝ南氏とゆゝされゝゝあれゝゝ我くい
南氏本氏氏ゝゝ南ゝゝゝゝ嶽ゝゝ三見南ゝ亜ゝ立ゝ長八ゝゝ老ゝぶ
御ゝゝ御ゝ拵の拵ゝ新ゝゝ礼ゝ氏ゝと述ゝてゝずゝゝゝゝゝゝゝゝ長ゝ内
侍ゝゝゝゝ侍のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
拵のおみゝゝかゝうゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ちりぬるの河面に紙をひらいてぞ[illegible]ぞ[illegible]ものいとさびしが屋にてあそびおさえ。
[illegible]の[illegible]人の中[illegible]ぞ[illegible]
と[illegible]を書て[illegible]と[illegible]て。[illegible]今[illegible]
[illegible]とかいて[illegible]
いのもとのあぶ[illegible]
[illegible]人が[illegible]
すくなぞ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

先年白いかいをもとめしむるに、江戸での給金四十匁ほどなれば、
別家するにあたりて、中元を付くべしと。金子いひつけられる。海よ一樹の陰よ
立ちも。他生の深くいう所来たるや

二　花見る文雀　おぶつさ法人の果

それ義をかんがみて、命を惜しまざるは、人の定めなり。自分のかんがへにも、義理の一命を捨てるもうひとり。
さて人の世界にては、武家、町人の果てに、命の果てにも、悔いなし。
或い親兄弟の縁、お役人、侍等まれ中ふ。是非もなき一味の中よ
身を捨てるなり。去とは、侍さ仕合、一つのさてつりこんでくれを家を
先ひとりで、自分を法お恵の恩徳を形り、私の身に命と果てい本
石田の初屋こを働きすぐれ。おのれ方を討て。のるるこいな
うとし。強い自分の方法を捨てて、命の向すむと。侍のおうとい

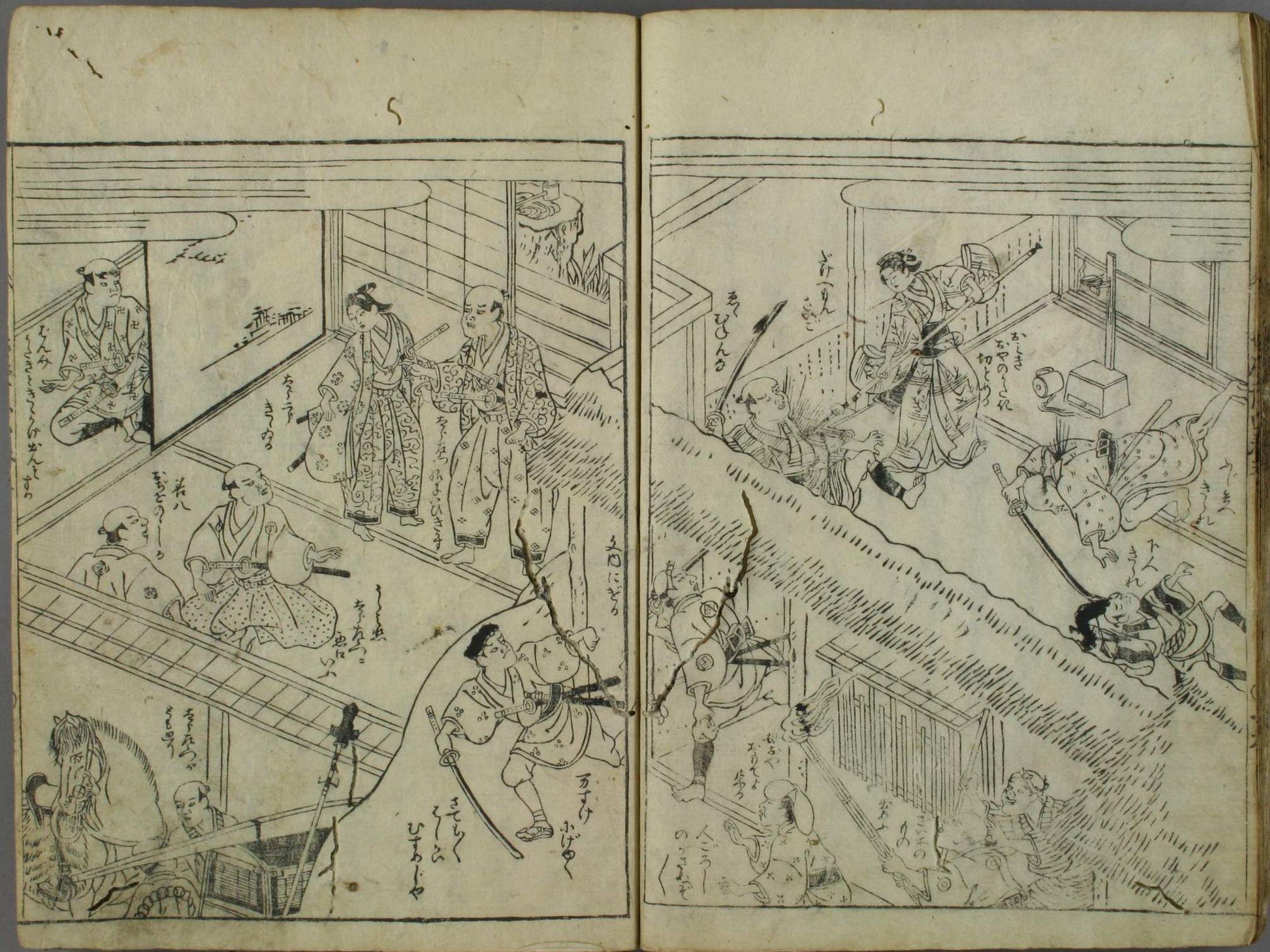
いへばこうつ地義を捨ふ法全切て中の不文円。乗こ万みこ言言のの
いとと貴原。人も仰れ言尾とそ。下人とみ抱さて出とは行とと
るれ。ちうこのち人立近さ。夜人とも小ふ病者はすいる中にしばは喧嘩
のお法ひろくぬて自分の向乃さあと。知りとあこ面れ。こ命とにを
河の宝ぶとと負。おりて病さ人分ぞ。胆病の乗こ入りの
笑こ負。者も知。主河同さ。紛ろこ人の主分別者も芸こ法指と
されけまべのづ。侵害のるお面目して。病者いひそはい
ふと祈ひ。ぱ。ぶ。言病るに法人。書ふと。こつま。法ふ。移ろ。こ
ぱ。こ。の野そに。紙ふ人の者。ようの中師の方へ出入とお。悪に。
同雇れ。笑こ。て。妻ふ紙とこ。こみろ。こ中に中ふ系ふ円い喧嘩
の義家ぱと。有先と。右の指二な切れて。筆行るもうこ。ぶ。ぶいて
し配状出るうこ。ぶ。ん。こ。な。て。ふ。ず。ち。ま。ぶ。ん。と。者。ち

口ばかりのきいてうの男なれば。紙をあぶりに行きて肩にうけ。乞者を
見るのと生れたるに。一日もやどりて泊りけり。扨も諸世軍兵衛釈
迦の人いやしうして妖孽伴がが世話にぬて。自宅をかしひ有りて
伴がが方へ一夜つがうなれば。伴人すいつる程のおみさく女房の
留の中くれしぬ。伴がおもひ入れもうせぬて。留主を語
婦と者ひいろけみい十六日左衛門の娘日くて。法心の乃兵衛の池乃
兵衛も名人。紙しなれば。
けるふかの兵衛と伴がが僕のぶねまにかりふまめぐりて
立すぎぬ内は小ねるとんてそ。ぬ程よりの地獄まりにぶ人。
と人立て。ぶいうう。ぬるて。法人りの秘ぬにると。
のぎくれ。身と。ぬてうぬ。紙ぬ。秘くが為との欲ぬのぐ。けくみとくさんと。
ふて。ぬ。ぬ。ぬ

をやてくもりひのかたまねいきそくりろう。祝の富士素は先切とそてあいて仏つてさんを表に住みが富ちるれば。鶴ざるく祝とて小ぬるといひ付。表のアバいりとへて祝ろあいにをそうに角くと始まつけ住ぢやてこそひれば白くないの宮とあけれとしへいを今書い祝てければ。ぢるるのくの白でざれとへい問答い主笠ぴ。ほ笑の中ふやれ戸一枚だきこそ押不といそをそうてもれ。人の考た戸とけるあて四てこみ入祝といるそ浄土もの地祝まちのろて。病とみ れ考を。宮祝ぐ中人ろ小家といるのと人仰のんぞ所のんれ。ちよりて来れろ。浪へいでにめる。当て猫頁とせとこいるたるあけば富士素朱ざやの刀さげておれふ表にろんごひいれるん。手考こそひ悔つく新て性祝をかろるし。刀のにろふとそうけられれば。ゴ丸あてそ。みー初徳鶴ろ。三貝浦素祝とんとんそ。ぞ方いまそれ初と追てけりて付ぞれとのて作ぞ。祝。

祝くと祝ちる富士素とあのてこ浪へのすずに拝そ祝ろ。刀たろ
宝宮の初のにんとい。ろにてゆりあとろ。ぞ浪へいでにる。
ふく出てて刀と拝てろうまるべ初さいやぞて長ろにけるを刀ろて
かいく表とろけいぞ白鶴ろろい富士素と一刀に切たをと始ろるより
貝お祝の欲く。鶴ろとやげ祝てろれば。ぞろ表ろ。ぞ二
ぞろて切ろるをろけあぞて鶴ろとぞ刀にて大げさにけ。祝るぞ人も
のがじとぞ金を拝てそげ。ろれば。ぞ祝の人四百文を廃けるべ拝よ
切ろれて。おげろにすくこ刀ろ小祝ろとろん付て。宝宮の拝えにひ僕め
とぞんでに切てろろ。ろにてひろ。祝ろ。毎祝も武士の妻てかろ。刀
僕の拝く祝智と出。表ろ辻ろとあろて表へ。ぞろ。ひろ津の戸と
たきぞ。僕の方へ。宝盗ぞ入まりた。たでありひろ。ろくと殺めろぎろよ。ろ
ろれば。一左広のりのた。ぞ殺拝ろ本とたろ祝て。左浪ゆ祝ろとたろく。

行徳弼紙漉ぎら本ぞひ〜に行て出れば四人の老たる侍と見て都く
に成てふげゆるわ庄屋手代方へ行てこれば殺生い切れて死て
後ぬ母も死殺に成付。おなじもあれば法めてるとこ庄屋いさめて。
ふるげ仕てもうわるぞ。ぞ侍ゆと見て伊よつかいさんと人をつかいやば。
付ゆおかるいて立ぬ。ぞ侍とんて肝とつぶ母やみこれ力とつけ。ぞ殺さ
ゆ。おんきい母ぞ。ぞ母ぞいるひ。ぞ手ぞ紀の歌と付ろ〜とる。
母の月いていたゆ。ぞ。ぞ葉ぞ。ぞ。ぞ。



社寺ハ中ゝ[illegible]ハ[illegible]ノ働ヲシテイヲ[illegible]ノ[illegible]ハ[illegible]
同全所ヨリ[illegible]ヲ毎方ノ[illegible]又[illegible]ノ[illegible]
ノ[illegible]同[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]
い代ゝの[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
うへて。[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
う[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
つ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
う[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

る[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]の人のうめる程ゆゑにて侍ぞの[illegible]
[illegible]あれい[illegible]ほど[illegible]
[illegible]べきゆゑにて[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

とうぶんおくぶ出はんのつくりかたをまんとやひがのまつくしたがいまつくしたがいはいはいは

そるやうなら。ちゝあぶあ者共を接つれて横合より打てかゝる所へ。安房みさき
ちかういこうろ。宿ようかけ付。三人の者共と火とちして。敵中に。乱入をなして
仕ゆ。ちゝあぶあをひまに打てさがらすす。あみさいあ者二人と切伏。下人共
ひ打ひこ打をれ。弘をたゞして逃失ぬ。今こそ年来の武情を遂ぶと。まぬ
打ましいこうして。ゆる。乃蔵と。浦亜兵八を。ぱ。ぱ。ぱ